

## 地球温暖化対策報告書（その1）

### 1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	江戸川区 区長 斉藤 猛
事業者番号	A 1 0 2 0

### 2 報告する事業所等の全体の状況（2018年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	65 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	7,700 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	3 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	85 kl

### 3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

### 4 事業者としての取組

取組方針	平成13年1月に「第1次環境行動計画」を策定し、庁舎等のエネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを開始した。以降、「第2次環境行動計画（平成17～平成19年度）」、「第3次環境行動計画（平成20～平成24年度）」、「第4次環境行動計画（平成25～平成29年度）」を経て、平成30年度から「第5次環境行動計画」による取り組みを推進している。			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置		
	A103	具体的な取組目標と内容の設定		

### 5 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川区役所 本庁舎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央1-4-1									
事業所等の延床面積	17,434.71		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	467	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	907 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	17 t
	総計( = + )	924 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	52.0 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	82,037.1	45.00	3,691.7	0.014	184.1	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,478,585.0	9.76	14,431.0	0.489	723.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						18,127.3		907.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	24,788.0			0.251	6.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	24,788.0			0.439	10.9	
合計								17.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	第二庁舎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央1-10-5									
事業所等の延床面積	1,711.35		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	82	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	47.3	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	269.7	45.00	12.1	0.014	0.6	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	164,737.0	9.76	1,607.8	0.489	80.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,620.0		81.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,857.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,857.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B103	時間的に詳細に把握	
			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C524	水道メータ等で漏水の有無の点検	
			C511	その他設備の効率的な使用法表示	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 1-7-7									
事業所等の延床面積	1,545.19		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	78	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	151	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	8	t
	総計( = + )	159	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	97.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	37,400.8	45.00	1,683.0	0.014	83.9	
	その他(灯油)		L	594.0	36.70	21.8	0.019	1.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	136,109.0	9.76	1,328.4	0.489	66.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,033.3		152.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	11,807.0			0.251	3.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	11,807.0			0.439	5.2	
合計								8.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E126	窓際照明の連続調光制御
			E109	空調の冷温水配管の保温の実施	

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、E111\_ポンプ・ファンのインバータ制御、E112\_空調用高効率冷凍機の採用、E128\_フリークーリングの導入

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 4-1-2									
事業所等の延床面積	2,773.48 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	98	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	190 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	200 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	68.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	60,748.5	45.00	2,733.7	0.014	136.3	
	その他(灯油)		L	800.0	36.70	29.4	0.019	2.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	107,012.0	9.76	1,044.4	0.489	52.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,807.5		190.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,384.0			0.251	3.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,384.0			0.439	6.8	
合計								10.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ホテルシーサイド江戸川										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 6-2-2									
事業所等の延床面積	5,563.92		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	353	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	684 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	694 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	122.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	102,989.3	45.00	4,634.5	0.014	231.1	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	927,836.0	9.76	9,055.7	0.489	453.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						13,690.2		684.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,366.0			0.251	3.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,366.0			0.439	6.7	
合計								10.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	設備保守対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照時点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C401\_利用客数の時間帯別把握、C403\_中央熱源機器等の季節設定実施、C417\_不使用室の空調停止、C418\_客室清掃時の空調停止、C419\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C420\_客室・共用部外調機の温度設定、C405\_加熱時の蓋の使用の徹底、C406\_水栓器具近傍に節水表示、C407\_食器洗浄機の効率的な使用法表示、C408\_調理器具等の効率的な使用法表示、C421\_過度な換気風量の適正化、C422\_営業開始に合わせた加熱器具使用、C410\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C411\_利用客数別燃料使用量の把握、C412\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C423\_蒸気の漏れ・保温の管理、C414\_利用客数別水道使用量の把握、C415\_その他設備の不使用時の停止、C416\_その他設備の効率的な使用法表示、C424\_看板照時点灯時間の季節別管理

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合文化センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-14-1									
事業所等の延床面積	16,495.77		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	590	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	1,145 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	1,155 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	69.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	92,720.6	45.00	4,172.4	0.014	208.1	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,916,364.0	9.76	18,703.7	0.489	937.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						22,876.1		1,145.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,750.0			0.251	4.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,750.0			0.439	6.9	
合計								10.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B103	時間的に詳細に把握	
			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
			C113	中間期における外気冷房の実施	
			C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無					
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
その他		特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C129_季節に応じた温度設定の見直し、C503_利用客数の時間帯別把握、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C513_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517_看板照明点灯時間の季節別管理、C518_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C520_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521_利用客数別燃料使用量の把握、C522_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523_蒸気の漏れ・保温の管理、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525_利用客数別水道使用量の把握、C511_その他設備の効率的な使用法表示</p>
---

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区民センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 1-38-1									
事業所等の延床面積	9,318.65		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	336	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	651 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	9 t
	総計( = + )	660 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	69.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	67,534.4	45.00	3,039.0	0.014	151.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,023,364.0	9.76	9,988.0	0.489	500.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						13,027.1		652.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	13,296.0			0.251	3.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	13,296.0			0.439	5.8	
合計								9.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置		
	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握			B103	時間的に詳細に把握
			B104	設備ごとに詳細に把握
			B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策		C113	中間期における外気冷房の実施
			C122	冷風と温風の混合損失の防止
			C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
			C130	エレベータ運転台数の制限
			C503	利用客数の時間帯別把握
			C509	中央熱源機器等の季節設定実施
		設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換
D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		D105	換気フィルターの清掃・点検
D104	空調フィルターの清掃・点検			
設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎公益複合施設等(駐輪含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 7-20-19									
事業所等の延床面積	6,357.42		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	92	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	179	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	28.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	367,274.8	9.76	3,584.6	0.489	179.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,584.6			179.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,990.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,990.0			0.439	1.3	
合計								2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握					
省エネルギー 対策	運用対策		C113	中間期における外気冷房の実施	
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
その他		特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	子ども未来館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 3-12-10									
事業所等の延床面積	1,546.00		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	29	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	57 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	57 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	36.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	78.3	45.00	3.5	0.014	0.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	118,018.0	9.76	1,151.9	0.489	57.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,155.4		57.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	863.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	863.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央3-1-3									
事業所等の延床面積	8,482.90		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	300	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	583 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	585 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	68.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	78,508.8	45.00	3,532.9	0.014	176.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	832,053.0	9.76	8,120.8	0.489	406.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						11,653.7		583.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,033.0			0.251	1.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,033.0			0.439	1.8	
合計								2.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C118	自動販売機の休日・夜間照明停止	
			C119	自動販売機の不要時の停止	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C503	利用客数の時間帯別把握	
			C509	中央熱源機器等の季節設定実施	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井 1-11-26									
事業所等の延床面積	1,209.18		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	34	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	66 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	66 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	54.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	10,610.0	45.00	477.5	0.014	23.8	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	88,294.0	9.76	861.7	0.489	43.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,339.2			67.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,448.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,448.0			0.439	0.6	
合計								1.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
			C113	中間期における外気冷房の実施	
			C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C129	季節に応じた温度設定の見直し	
			C503	利用客数の時間帯別把握	
			C509	中央熱源機器等の季節設定実施	
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川6-24-1									
事業所等の延床面積	1,550.55		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	111 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	111 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	71.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	228,475.0	9.76	2,229.9	0.489	111.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,229.9		111.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,339.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,339.0			0.439	0.6	
合計								0.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
			C113	中間期における外気冷房の実施	
			C503	利用客数の時間帯別把握	
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有	無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	<input type="text"/>	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	<input type="text"/>	%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	<input type="text"/>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	<input type="text"/>	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	西葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 5-10-47									
事業所等の延床面積	2,341.85		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	54	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	107	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	45.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	17,030.5	45.00	766.4	0.014	38.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	139,107.0	9.76	1,357.7	0.489	68.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,124.1		106.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,009.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,009.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策		C113	中間期における外気冷房の実施	
			C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
その他		特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 2 36 6									
事業所等の延床面積	2,000.97		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	61	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	118	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	58.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	17,751.6	45.00	798.8	0.014	39.8	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	161,464.0	9.76	1,575.9	0.489	79.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,374.7		118.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,909.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,909.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩図書館(新)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩3-6-9									
事業所等の延床面積	2,933.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	84	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	163	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	164	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	55.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	25,633.8	45.00	1,153.5	0.014	57.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	216,715.0	9.76	2,115.1	0.489	106.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,268.7		163.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,244.0			0.251	0.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,244.0			0.439	1.0	
合計								1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、  
=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B103	時間的に詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C503	利用客数の時間帯別把握	
			C509	中央熱源機器等の季節設定実施	
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分			
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他		特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 2-14-17									
事業所等の延床面積	2,231.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	77 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	78 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	34.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	686.3	45.00	30.9	0.014	1.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	155,898.0	9.76	1,521.6	0.489	76.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,552.4		77.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,899.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,899.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
省エネルギー 対策	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 4-5-8									
事業所等の延床面積	2,015.91		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	62 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	64 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	30.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	2,313.2	45.00	104.1	0.014	5.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	117,594.0	9.76	1,147.7	0.489	57.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,251.8		62.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,003.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,003.0			0.439	1.3	
合計								2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザー之江										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	以 一之江 3-13-7									
事業所等の延床面積	1,916.90		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	64 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	66 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	33.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	2,468.9	50.80	125.4	0.016	7.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	116,707.0	9.76	1,139.1	0.489	57.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,264.5		64.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,755.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,755.0			0.439	1.6	
合計								2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南篠崎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南篠崎町 3-12-8									
事業所等の延床面積	1,690.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	33	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	65	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	37.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	1,899.5	45.00	85.5	0.014	4.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	123,154.0	9.76	1,202.0	0.489	60.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,287.5		64.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,749.0			0.251	0.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,749.0			0.439	1.2	
合計								1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	谷河内テニスコート										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	0	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	谷河内 2-9-19									
事業所等の延床面積	68.70 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	6	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	97 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	97 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	1,411.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	150.8	45.00	6.8	0.014	0.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	198,355.0	9.76	1,935.9	0.489	97.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,942.7		97.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	988.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	988.0			0.439	0.4	
合計								0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合体育館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松本 1-35-1									
事業所等の延床面積	10,285.84		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	449	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	871 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	15 t
	総計( = + )	886 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	84.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	103,651.5	45.00	4,664.3	0.014	232.6	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,305,641.0	9.76	12,743.1	0.489	638.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						17,407.4		871.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	22,101.0			0.251	5.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	22,101.0			0.439	9.7	
合計								15.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツランド										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東篠崎 1-8-1									
事業所等の延床面積	6,225.65		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	333	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	646 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	9 t
	総計( = + )	655 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	103.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	16,897.1	45.00	760.4	0.014	37.9	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,244,878.0	9.76	12,150.0	0.489	608.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						12,910.4		646.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	13,783.0			0.251	3.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	13,783.0			0.439	6.1	
合計								9.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C113\_中間期における外気冷房の実施、C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 4-2-20									
事業所等の延床面積	11,029.74		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	556	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	1,079 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	21 t
	総計( = + )	1,100 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	97.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	189,121.2	45.00	8,510.5	0.014	424.4	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	1,338,999.0	9.76	13,068.6	0.489	654.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						21,579.1		1,079.2	
その他	水道及び工業用水道			m <sup>3</sup>	31,265.0			0.251	7.8
	公共下水道			m <sup>3</sup>	31,265.0			0.439	13.7
合計								21.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	陸上競技場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	以 清新町 2-1-1									
事業所等の延床面積	4,425.88			m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	42	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	3	t
	総計( = + )	86	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	18.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	540.4	45.00	24.3	0.014	1.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	167,476.0	9.76	1,634.6	0.489	81.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,658.9		83.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	5,301.5			0.251	1.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	5,301.5			0.439	2.3	
合計								3.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	球場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西7-2-1									
事業所等の延床面積	1,881.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	78 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	80 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	41.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	136.3	45.00	6.1	0.014	0.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	159,975.0	9.76	1,561.4	0.489	78.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,567.5		78.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,146.5			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,146.5			0.439	1.4	
合計								2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海球技場第一										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 1-1-2									
事業所等の延床面積	493.98 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	124 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	3 t
	総計( = + )	127 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	251.0 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	1,506.2	50.80	76.5	0.016	4.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	244,831.0	9.76	2,389.6	0.489	119.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,466.1		124.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,989.0			0.251	1.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,989.0			0.439	2.2	
合計								3.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無					
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 7-5-12									
事業所等の延床面積	1,747.43		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	43	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	85	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	85	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	48.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	12,211.7	45.00	549.5	0.014	27.4	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	118,158.0	9.76	1,153.2	0.489	57.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,702.8		85.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	891.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	891.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節別設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	一之江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	一之江 2-6-15									
事業所等の延床面積	1,153.79		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	59 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	59 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	51.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	75.9	50.80	3.9	0.016	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	121,758.0	9.76	1,188.4	0.489	59.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,192.2			59.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	729.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	729.0			0.439	0.3	
合計								0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江区民プラザ										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 2-1-10									
事業所等の延床面積	2,599.29		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	88	kl
二酸化炭素排出量	172	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	172	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
総計( = + )	173	t
二酸化炭素排出原単位	66.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	66.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	30,673.9	45.00	1,380.3	0.014	68.8	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	211,357.0	9.76	2,062.8	0.489	103.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,443.2		172.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,656.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,656.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-1-1									
事業所等の延床面積	2,002.78		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	47	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	92	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	93	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	45.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	149.8	45.00	6.7	0.014	0.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	188,441.0	9.76	1,839.2	0.489	92.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,845.9		92.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,586.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,586.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川区民施設(さくらホール)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-6-3									
事業所等の延床面積	5,173.63		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	340	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	659 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	669 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	127.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	142,744.0	45.00	6,423.5	0.014	320.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	693,352.0	9.76	6,767.1	0.489	339.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						13,190.6		659.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,492.0			0.251	3.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,492.0			0.439	6.8	
合計								10.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			C131	出入口等の開口部付近の空調停止

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C503\_利用客数の時間帯別把握、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	平井コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-18-10									
事業所等の延床面積	1,549.43		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	27	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	53	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	53	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	34.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	97.6	45.00	4.4	0.014	0.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	109,794.0	9.76	1,071.6	0.489	53.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,076.0		53.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	696.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	696.0			0.439	0.3	
合計								0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			C131	出入口等の開口部付近の空調停止

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C503_利用客数の時間帯別把握、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検</p>
--

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中平井コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井7-1-6									
事業所等の延床面積	1,669.23		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	74 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	74 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	14,204.0	45.00	639.2	0.014	31.9	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	87,475.0	9.76	853.8	0.489	42.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,492.9		74.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	478.0			0.251	0.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	478.0			0.439	0.2	
合計								0.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西3-10-1									
事業所等の延床面積	7,392.32		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	217	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	421 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	5 t
	総計( = + )	426 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	56.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	65,267.6	45.00	2,937.0	0.014	146.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	561,753.0	9.76	5,482.7	0.489	274.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						8,419.7		421.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	7,277.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	7,277.0			0.439	3.2	
合計								5.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用時の停止

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北葛西コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西2-11-39									
事業所等の延床面積	1,491.50		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	77 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	77 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	51.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	18,952.2	45.00	852.9	0.014	42.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	72,272.0	9.76	705.4	0.489	35.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,558.2		77.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,036.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,036.0			0.439	0.5	
合計								0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	二之江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川6-46									
事業所等の延床面積	1,752.80		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	68 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	68 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	38.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	13,740.0	45.00	618.3	0.014	30.8	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	77,642.0	9.76	757.8	0.489	38.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,376.1		68.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	722.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	722.0			0.439	0.3	
合計								0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	清新町コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	清新町 1-2-2									
事業所等の延床面積	2,898.66 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	128 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	129 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	325.8	45.00	14.7	0.014	0.7	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	261,217.0	9.76	2,549.5	0.489	127.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						2,564.1		128.5	
その他	水道及び工業用水道			m <sup>3</sup>	2,186.0			0.251	0.5
	公共下水道			m <sup>3</sup>	2,186.0			0.439	1.0
合計								1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海町コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 2-2-9									
事業所等の延床面積	2,176.50		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	81 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	81 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	37.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	98.6	45.00	4.4	0.014	0.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	165,281.0	9.76	1,613.1	0.489	80.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,617.6		81.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	850.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	850.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策			C123	温湿度の適正管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東葛西コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 8-22-1									
事業所等の延床面積	3,871.91		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	153	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	298 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	299 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	76.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	44,718.4	45.00	2,012.3	0.014	100.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	405,234.0	9.76	3,955.1	0.489	198.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						5,967.4		298.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,334.0			0.251	0.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,334.0			0.439	1.0	
合計								1.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	長島桑川コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西5-31-18									
事業所等の延床面積	2,498.13		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	117 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	117 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	46.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	240,111.0	9.76	2,343.5	0.489	117.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,343.5		117.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	883.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	883.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C518\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	船堀コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	船堀 1-3-1									
事業所等の延床面積	2,488.61		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	56	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	109 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	109 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	43.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	20,585.9	45.00	926.4	0.014	46.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	129,701.0	9.76	1,265.9	0.489	63.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						2,192.2		109.6	
その他	水道及び工業用水道			m <sup>3</sup>	757.0			0.251	0.2
	公共下水道			m <sup>3</sup>	757.0			0.439	0.3
合計								0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 6-9-14									
事業所等の延床面積	3,677.64		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	121	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	235	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	237	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	63.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	35,612.5	45.00	1,602.6	0.014	79.9	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	317,549.0	9.76	3,099.3	0.489	155.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						4,701.8		235.2	
その他	水道及び工業用水道			m <sup>3</sup>	3,547.0			0.251	0.9
	公共下水道			m <sup>3</sup>	3,547.0			0.439	1.6
合計								2.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C502_採光を利用した消灯の実施、C503_利用客数の時間帯別把握、C507_温度計等による室温の把握と調整、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513_便座ヒーター等温度の季節別設定、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C510_その他設備の不使用时の停止</p>
--

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩アーバンプラザ										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 1-17-1									
事業所等の延床面積	7,583.44		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	405	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	785 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	795 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	103.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	115,848.7	45.00	5,213.2	0.014	260.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,074,859.0	9.76	10,490.6	0.489	525.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						15,703.8		785.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,918.0			0.251	4.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,918.0			0.439	7.0	
合計								11.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握	
			B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北小岩コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 6-35-17									
事業所等の延床面積	1,896.60		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	116 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	116 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	61.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	23,946.9	45.00	1,077.6	0.014	53.7	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	127,478.0	9.76	1,244.2	0.489	62.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,321.8		116.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	936.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	936.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南小岩コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 7-17-10									
事業所等の延床面積	1,035.45 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	60 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	61 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	57.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	11.6	45.00	0.5	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	124,658.0	9.76	1,216.7	0.489	61.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,217.2		61.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,624.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,624.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東瑞江 1-17-1									
事業所等の延床面積	3,455.35			m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	75	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	146	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	41.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	11,635.6	45.00	523.6	0.014	26.1	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	245,049.0	9.76	2,391.7	0.489	119.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,915.3		145.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,937.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,937.0			0.439	0.9	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部フレンドホール										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	瑞江2-5-7									
事業所等の延床面積	5,415.76		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	156	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	302	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	304	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	55.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	43,807.8	45.00	1,971.4	0.014	98.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	417,588.0	9.76	4,075.7	0.489	204.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						6,047.0		302.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,231.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,231.0			0.439	1.4	
合計								2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C518\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿骨事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 1-54-2									
事業所等の延床面積	3,313.76			m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	95	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	184	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	186	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	55.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	30,116.1	45.00	1,355.2	0.014	67.6	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	239,273.0	9.76	2,335.3	0.489	117.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,690.5		184.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,251.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,251.0			0.439	1.4	
合計								2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	上篠崎 4-21-8									
事業所等の延床面積	1,468.93		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	74 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	74 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	50.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	15,791.3	45.00	710.6	0.014	35.4	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	79,496.0	9.76	775.9	0.489	38.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,486.5		74.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,020.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,020.0			0.439	0.4	
合計								0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E126	窓際照明の連続調光制御

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、E109\_空調の冷温水配管の保温の実施、E110\_高効率モータの導入(空調用)、E111\_ポンプ・ファンのインバータ制御、E112\_空調用高効率冷凍機の採用、E113\_高効率ボイラの採用(空調用)、E128\_フリークーリングの導入、E134\_駐車場CO等濃度制御の導入、E135\_エレベータのインバータ制御

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	希望の家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 5-32-6									
事業所等の延床面積	1,453.51		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	33	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	65	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	1,422.9	45.00	64.0	0.014	3.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	126,122.0	9.76	1,231.0	0.489	61.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,295.0		64.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,811.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,811.0			0.439	0.8	
合計								1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C505_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507_温度計等による室温の把握と調整、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C520_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523_蒸気の漏れ・保温の管理、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510_その他設備の不使用时の停止、C511_その他設備の効率的な使用法表示</p>
---

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	希望の家(新館)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 5-32-6									
事業所等の延床面積	2,246.79		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	36	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	72	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	31.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	4,462.1	45.00	200.8	0.014	10.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	125,717.0	9.76	1,227.0	0.489	61.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,427.8		71.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,810.0			0.251	0.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,810.0			0.439	1.2	
合計								1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131_出入口等の開口部付近の空調停止、C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C505_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507_温度計等による室温の把握と調整、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C520_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523_蒸気の漏れ・保温の管理、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510_その他設備の不使用时の停止、C511_その他設備の効率的な使用法表示</p>
---

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	虹の家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西篠崎 2-18-22									
事業所等の延床面積	1,998.33		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	48	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	97	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	47.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	5,315.4	50.80	270.0	0.016	15.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	163,294.0	9.76	1,593.7	0.489	79.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,863.8			95.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,256.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,256.0			0.439	1.4	
合計								2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C510\_その他設備の不使用时の停止

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	みんなの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	本一色3-38-3									
事業所等の延床面積	2,175.06		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	39	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	76 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	78 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	34.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	4,502.7	45.00	202.6	0.014	10.1	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	136,033.0	9.76	1,327.7	0.489	66.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,530.3		76.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,325.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,325.0			0.439	1.5	
合計								2.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C518\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	えがおの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西5-10-5									
事業所等の延床面積	2,305.69		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	53	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	17,487.8	45.00	786.9	0.014	39.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	132,009.0	9.76	1,288.4	0.489	64.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,075.4		103.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,247.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,247.0			0.439	1.4	
合計								2.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E126	窓際照明の連続調光制御

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C130\_エレベータ運転台数の制限、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示、E109\_空調の冷温水配管の保温の実施、E111\_ポンプ・ファンのインバータ制御、E112\_空調用高効率冷凍機の採用、E113\_高効率ボイラの採用(空調用)、E128\_フリークーリングの導入、E129\_全熱交換器の導入、E116\_ナイトカバーの採用、E132\_エアカーテンの設置、E121\_高効率ボイラの採用(給湯用)、E134\_駐車場CO等濃度制御の導入、E142\_太陽熱利用設備の導入

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	さくらの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-13-4									
事業所等の延床面積	1,200.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	34	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	68	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	55.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	12,042.6	45.00	541.9	0.014	27.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	83,090.0	9.76	811.0	0.489	40.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,352.9		67.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,254.0			0.251	0.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,254.0			0.439	1.0	
合計								1.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限、C505_空調機スイッチに空調範囲を表示、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C516_外灯等の点灯時間の季節別管理、C518_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C510_その他設備の不使用时の停止</p>
---

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害者支援ハウス										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 2-11-8									
事業所等の延床面積	1,597.22		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	128 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	4 t
	総計( = + )	132 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	80.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	13,073.0	45.00	588.3	0.014	29.3	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	202,540.0	9.76	1,976.8	0.489	99.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,565.1		128.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	6,741.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	6,741.0			0.439	3.0	
合計								4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C132_開け放し開口部面積の縮小、C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C117_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C502_採光を利用した消灯の実施、C503_利用客数の時間帯別把握、C507_温度計等による室温の把握と調整、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C512_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516_外灯等の点灯時間の季節別管理、C519_季節に応じた温度設定の見直し、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525_利用客数別水道使用量の把握</p>
--

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東篠崎保育園										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東篠崎 1-6-1									
事業所等の延床面積	1,375.51		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	34	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	67 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	69 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	48.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	5,012.1	45.00	225.5	0.014	11.2	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	115,463.0	9.76	1,126.9	0.489	56.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,352.5		67.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,853.0			0.251	1.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,853.0			0.439	1.7	
合計								2.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川保健所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-24-19									
事業所等の延床面積	1,450.08		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	33	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	65	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	4,708.9	45.00	211.9	0.014	10.6	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	112,562.5	9.76	1,098.6	0.489	55.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,310.5		65.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,112.1			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,112.1			0.439	0.5	
合計								0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩健康サポートセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 3-23-3									
事業所等の延床面積	2,273.70		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	80 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	80 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	35.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	466.9	45.00	21.0	0.014	1.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	162,171.0	9.76	1,582.8	0.489	79.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,603.8		80.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,201.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,201.0			0.439	0.5	
合計								0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、  
=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策			C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C502\_採光を利用した消灯の実施、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C510\_その他設備の不使用时の停止

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西駅広場(手洗・駐輪・エスカレータ含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	中葛西 5-43									
事業所等の延床面積	5,680.05		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	106	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	206	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	208	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	36.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	422,761.0	9.76	4,126.1	0.489	206.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					4,126.1			206.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,145.0			0.251	1.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,145.0			0.439	1.8	
合計								2.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握					
省エネルギー 対策	運用対策		C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C524	水道メータ等で漏水の有無の点検	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	西葛西駅北口広場(手洗・駐輪含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西5-1									
事業所等の延床面積	2,669.81		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	35	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	69	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	25.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	139,972.0	9.76	1,366.1	0.489	68.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,366.1			68.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,185.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,185.0			0.439	1.0	
合計								1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握					
省エネルギー 対策	運用対策		C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		<input type="text"/>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量) <input type="text"/> t
その他		特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	瑞江駅南口駐輪場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	瑞江2-3									
事業所等の延床面積	4,800.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	75 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	75 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	15.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	154,545.0	9.76	1,508.4	0.489	75.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,508.4			75.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	291.0			0.251	0.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	291.0			0.439	0.1	
合計								0.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、  
=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策		C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止	
			C503	利用客数の時間帯別把握	
			C518	屋内駐車場換気の不要時間の停止	
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有	無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	<input type="text"/>	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	<input type="text"/>	%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	<input type="text"/>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	<input type="text"/>	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川地下駐車場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	船堀 7-2-1									
事業所等の延床面積	10,500.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	163 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	163 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	15.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	335,240.0	9.76	3,271.9	0.489	163.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,271.9			163.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	481.0			0.251	0.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	481.0			0.439	0.2	
合計								0.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置		
	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
	A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握
省エネルギー対策	運用対策		C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
			C511	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="text" value="有"/>	<input type="text" value="無"/>				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	<input type="text"/>	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	<input type="text"/>	%
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	<input type="text"/>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	<input type="text"/>	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	行船公園(自然動物園)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西3-2-1									
事業所等の延床面積	2,577.69		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	235	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	456 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	35 t
	総計( = + )	491 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	176.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	16,680.6	45.00	750.6	0.014	37.4	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	857,395.0	9.76	8,368.2	0.489	419.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						9,118.8		456.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	51,939.0			0.251	13.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	51,939.0			0.439	22.8	
合計								35.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策		C113	中間期における外気冷房の実施	
			C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C129	季節に応じた温度設定の見直し	
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
D106		ボイラ等の定期点検の実施			
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合レクリエーション公園(なぎさポニーランド)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西6-7-8丁目									
事業所等の延床面積	1,270.36		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	150	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	293 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	15 t
	総計( = + )	308 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	230.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	17.4	45.00	0.8	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	512.7	50.80	26.0	0.016	1.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	596,751.0	9.76	5,824.3	0.489	291.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						5,851.1		293.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	22,923.0			0.251	5.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	22,923.0			0.439	10.1	
合計								15.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策		C113	中間期における外気冷房の実施	
			C122	冷風と温風の混合損失の防止	
			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C127	看板照明点灯時間の季節別管理	
			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整	
			C129	季節に応じた温度設定の見直し	
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理	
			C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
D106		ボイラ等の定期点検の実施			
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	くつろぎの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 2-13									
事業所等の延床面積	1,894.87		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	増床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	56	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	109 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	119 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	57.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	8,005.8	45.00	360.3	0.014	18.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	187,826.0	9.76	1,833.2	0.489	91.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,193.4		109.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	14,875.0			0.251	3.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	14,875.0			0.439	6.5	
合計								10.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央くすのきカルチャーセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西小松川町 34-1									
事業所等の延床面積	1,734.57		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	30	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	60	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	34.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	211.7	45.00	9.5	0.014	0.5	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	120,186.0	9.76	1,173.0	0.489	58.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,182.5		59.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,527.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,527.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西くすのきカルチャーセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	宇喜田町 191									
事業所等の延床面積	1,181.56 m <sup>2</sup>			事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点	減床変更										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	29	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	56 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	56 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	47.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	9,295.4	45.00	418.3	0.014	20.9	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	73,390.0	9.76	716.3	0.489	35.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,134.6			56.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	972.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	972.0			0.439	0.4	
合計								0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無				
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
		CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B107\_主要設備の使用状況の把握、B108\_エネルギー等情報の対策への活用、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C123\_温湿度の適正管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C131\_出入口等の開口部付近の空調停止、C132\_開け放し開口部面積の縮小、C115\_事務用機器を業務終了時に停止、C116\_個人用端末の不用・離席時の停止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C117\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C502\_採光を利用した消灯の実施、C503\_利用客数の時間帯別把握、C505\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C507\_温度計等による室温の把握と調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C512\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C513\_便座ヒーター等温度の季節別設定、C514\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C515\_自動販売機の不要時の停止、C516\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C517\_看板照明点灯時間の季節別管理、C519\_季節に応じた温度設定の見直し、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示